



答弁中の中嶋町長

町有施設の老朽化対策

26年度中に計画策定

問

総務建設産業委員会の閉会中の委員会活動において、小中学校5カ所と、社会教育施設4カ所、計9カ所の施設の老朽化を調査し、結果の報告を現況に加え要望を添えて、子ども教育課および社会教育課に提出しました。

議会広報にも掲載しましたが、中には、危険と判断され早急な対処が望ましいものも

あり、この回答をより早くいただくため、委員会を代表して質問します。

工事には多額の予算を必要とし、その確保が困難なことは承知していますが、対処が早ければ安価で済む場合が多く、施工時期が大事です。教育長および部局の建設的な回答を求めます。

答 平松教育長



合屋 伸好 議員

すでに実施計画された改修事業があり、第一小学校の耐震構造の補強工事は予算計上されています。また、須恵中学校の外壁工事は、26年度に設計業務委託および一部工事施工、27年度竣工の予定です。須恵中学校の大規模改修工

事は、26年度に設計業務委託、27年度・28年度で外壁改修と屋根の工事施工、29年度に内装や建具関係の改修を計画しています。

今後財政当局と打ち合わせをしながら、町内すべての学校施設の校舎・体育館屋上・外壁・内装等の工事について

事業計画を策定します。社会教育施設については、26年度予算で、あおば会館の屋上防水改修工事および早急に修繕が必要な箇所についての修繕費を計上しており、大規模に改修が必要な案件については、26年度中に事業計画を策定します。



老朽化が進む町有施設

ICT（情報通信技術）の活用は

緊急速報メール導入

問

ICT（情報通信技術）は、医療や教育をはじめとして様々な分野で導入がはじまっています。

たとえば、防災や災害時の情報発信に特化したツイッターを運用する自治体も9都道府県に広がっているとのこと。ICTは、今では地域活性化の為に必要不可欠なものとなりつつあります。

須恵町でも高齢化がすすんでいますが、労働人口の減少・医療費の増大などが課題となっています。須恵町ではICTを活用した高齢者サービスを導入する予定があるか、お考えをお聞かせください。

答 今泉総務課長

ICTは、社会福祉や高齢者福祉に限らず、いろいろな分野で活用が考えられています。



百田 輝子 議員

国においてもICT成長戦略会議が立ちあげられ、2020年を目標にICTを日本経済の成長と国際社会への貢献の切り札として活用する方策が検討されています。高齢者福祉の分野においては、「

検討していく必要があると思います。

ICT超高齢社会構想」の中で、利活用による特定保健指導・健康意識向上・地域医療ネットワーク事業など様々な推進施策があります。本町では、自治体クラウド基幹業務システム（宇美・志免・須恵の3町で共有している業務システム）を構築していく中で、国の動向を見ながら財政負担や費用対効果等を

防災や災害時の情報発信の取り組みは、防災行政無線による一斉放送および通話料無料のフリーダイヤル・全国瞬時警報システム・福岡県の防災メールまもるくんの活用推進をしております、新たに「緊急速報メール」システムの導入を予定しています。



福岡県の防災メール